

# R7 校内研修全体計画

## 1 研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めることによって学校教育の充実を図る。

## 2 研修の視点

- (1) 本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修
- (2) 教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修
- (3) 児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修
- (4) 学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

## 3 研修の基本方針

### (1) 学習指導に係る研修

「熊本の学び推進プラン」に基づき、「児童の視点に立った『児童の学びの側から考える』授業づくり」の推進を図る研修を進める。

- ① 授業研究会、公開授業の実施
- ② 指導力向上を図る講話（講師招へい等）の実施

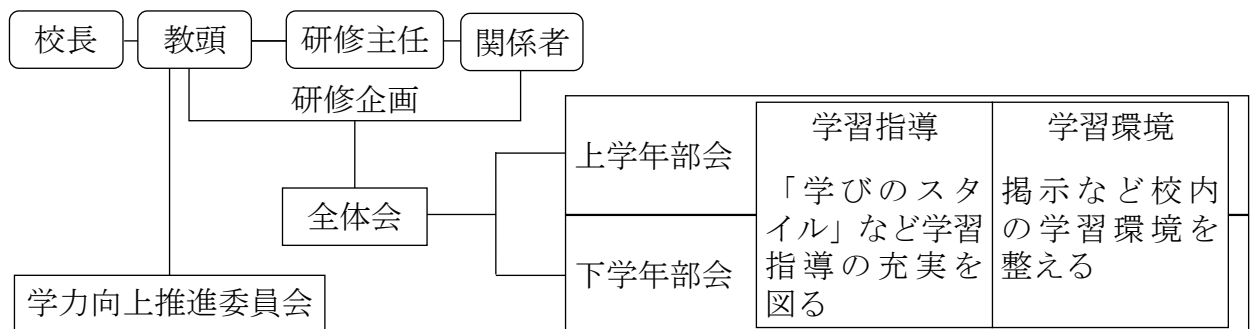
### (2) 人権教育・道徳教育に係る研修

- ① 現地研修等の実施
- ② 授業研究会、公開授業の実施
- (3) その他の教職員の資質・能力の向上を図る研修
  - ① 児童理解研修
  - ② 特別支援教育研修
  - ③ 実技研修（情報教育、救急救命等）
  - ④ 幼保等小中連携に係る研修
  - ⑤ 復講（各種研究会の報道）
  - ⑥ その他（町教育委員会主催研修への参加等）

### (4) 留意事項

- ① 各研修については、担当者と連携を図り設定する。
- ② 本年度、校内研修は長期休業期間中も含めて30回実施する。

## 4 研修の組織



## 5 研修の年間計画

	期 日		児童理解
1	4 / 7	児童理解、特別支援教育、アレルギー対応（全）	
2	4 / 9	今年度の研修計画	
3	4 / 2 2	個人テーマ、授業研教科決め	
4	4 / 3 0	人権学習年間計画、特別支援教育	○
5	5 / 2 8	全学調校内採点結果分析、授業研①（ <u>1・6年</u> ）	○
6	6 / 9	救急救命講習（全）	
7	6 / 1 8	講話（「熊本の学び」の推進）、授業参観（ <u>全学年</u> ）	
8	6 / 2 7	小中合同研修会（ニュースポーツ体験）	
9	7 / 2	授業研③（ <u>4・2年</u> ）、特別支援教育	○
1 0	7 / 9	授業研④（ <u>5・3年</u> ）	
1 1	7 / 1 6	授業研⑤（ <u>4・2年</u> ）、人権学習実践記録まとめ	
1 2	7 / 1 8	特別支援教育	
1 3	8 / 1	講話（湯前町教育委員会）	
1 4	8 / 8	現地研修（人権教育）	
1 5	8 / 2 0	参加研修の復講、1学期の反省	
1 6	9 / 3	授業研⑥（ <u>5・3年</u> ）、特別支援教育	○
1 7	1 0 / 1	授業研⑦（ <u>4・2年</u> ）	○
1 8	1 0 / 1 0	講話（健康教育）	
1 9	1 0 / 2 2	幼保小中公開授業（ <u>1年・中学1年</u> ）	
2 0	1 0 / 2 9	11月の人権学習に向けて、特別支援教育	
2 1	1 1 / 1 9	講話（基礎的環境整備）、授業研⑧（ <u>特別支援</u> ）	
2 2	1 2 / 3	公開授業の準備（道徳）、授業研⑨（ <u>6・2年</u> ）	○
2 3	1 2 / 1 0	講話（道徳指導力向上）、授業研⑩（ <u>1・4・5年</u> ）	
2 4	1 2 / 1 7	町PTA主催教育講演会	
2 5	1 2 / 2 4	2学期の反省、人権教育レポートの作成	
2 6	1 / 9	学力調査分析1	○
2 7	1 / 2 1	授業研⑪初任者大研	○
2 8	1 / 2 8	学力調査分析2	○
2 9	2 / 1 0	人権教育レポート研修	
3 0	2 / 2 5	研修のまとめ、反省	

※運動会期間の9月は、原則、校内研修を設定しない。

※校内研修の後半に「児童理解」の時間を設定する。

※講師招へい・・・県教委、球磨教育事務所、県立教育センター、町教委、その他

※授業研究会・・・①4月22日に本年度の個人テーマと授業研の教科を検討する。

②授業づくりの研修というとらえ方。共通理解・共通実践「大切にすること」を中心に話し合い、教師の指導力向上を目指す場とする。